

経営再開に向けて新たに設立した農業法人を位置付けたプラン

いしのまきし おおかわ

(宮城県石巻市大川地域(H24.3作成、H26.2見直し))

概要・データ

地域の特徴	東日本大震災の津波により、農地や農業用施設に甚大な被害を受けた地域。415haの農地で復旧工事が進められている。 地区内農家数448戸、地区内農地面積558ha。
中心経営体	個別経営 4 名、法人経営 1
出し手となる農業者	21 名《提供予定農地面積 13.7 ha》
農地集積	現状(H25)10.9 ha(集積率 2%) 目標(H28)131.1ha(集積率 23%)

特徴的な取組

- 東日本大震災による津波のため、農業用機械等の流出により個人での経営再開が困難になる中、新たな営農体制の構築が必要となっていた。
- 平成24年3月にプランを作成したものの、十分な担い手が確保できなかったことから、地域農業の再生のため、経営再開を目指す農家数名が法人化を決意し、営農再開のための土作り等の共同作業を行う地域農業復興組合等の活動を通じて、地域の話合いを推進し農地の集積意向を把握した。
- その法人設立を県とJAが中心となり支援するとともに、市はプランの見直しを推進して当該法人を新たな中心経営体として位置付け、農地復旧の進展にあわせて平成25年5月に法人設立と当該法人への農地集積を実現した。
- 今後も引き続き当該法人を中心に農地集積を進めることで地域の農地を守るとともに、効率的な生産体制を構築し、水稻に加え「きく」の施設栽培に取り組むことで地域の雇用の場の創出を目指している。

プラン作成・見直しの経緯

- 平成24年3月にプラン策定。
- 平成26年2月に見直し。



地域の話合いの様子

(石巻市位置図)

